

東海美術連盟紹介

私たちは、美術文化に深い関心を持ち、創造性豊かな文化の街造りと、各人の充実したライフワークを念頭に、絵を描くことが楽しいという人達が集まりまして美術連盟が出来ました。

連盟が発足しまして、今年で42年目を迎えます。過去の30周年には、記念事業としまして、県の天心記念五浦美術館において、会員全員参加で盛大に展覧会を開催致しました。

創立40周年を迎えました2015年には、記念事業と致しまして記念美術展をその年の芸術祭と抱き合わせで東海ステーションギャラリーで開催、更に40年のあゆみの記念誌の発行、村長、教育長をはじめとして村の関係部署の長の方、文化協会長、各文化団体の理事長、そして会員の多数の参加で記念祝賀会を実施いたしました。

現在、連盟会員は74名です。会員は、絵を始めたばかりの者から、既に50年、60年の経験を積んでいる者もあり、中には、県展やわくわく展、各市展、更には中央画壇等に入選、入賞し、高い評価を得ている者もいるという、つまりいろいろなレベルの者が集まっていますが、同じ趣味の仲間として全く気軽に一緒に絵を描く事を楽しんでおります。

連盟の行事としましては、日帰りの野外スケッチ会、バスを利用しての、1泊2日の野外スケッチ会、プロのモデルを呼んでの裸婦デッサン会、コスチュームデッサン会、等を毎年恒例として実施しております。更には、東海村の芸術祭、文化祭には積極的に参加して、会員の日頃の成果を発表しております。

又、東海村の文化向上を目指して『暮らしの中の美術館』を旗印に活動していますアートロード実行委員会にも会員の8割以上がアートロード会員として参加して活発に活動しております。

更には、毎年開催致しております当美術連盟主催の《絵画教室》には、美術連盟の中から経験豊かな者を講師としまして、村民の皆さんが更に絵に親しんでいただける手助けになればと頑張っております。

美術連盟といたしましては、《一緒に楽しく絵を描く仲間》を随時募集しておりますので、是非ともお気軽に声をかけて頂きますようお願い申し上げます。

2017年(平成29年)4月吉日

東海美術連盟 理事長 棚井 哲雄